

株式会社 TESS



代表取締役
鈴木 堅之氏

◆企業の概要

住 所：株式会社 TESS

代 表 者：代表取締役 鈴木 堅之

住 所：仙台市青葉区荒巻字青葉6丁目-6-40
東北大学連携ビジネス
インキュベータ404号

設 立 年：平成20年

業 種：医療用器具等開発・製造・販売

資 本 金：3.8百万円

従業員数：2名

◆事業の概要

東北大学発の研究開発型ベンチャー企業として、介護・医療機器等を開発、製造、販売。東北大学のニューロモジュレーション（神経調節）技術を活用し、従来の車いすとは違い、リハビリ効果が大きく期待できるチェアサイクル（足こぎ車いす）を世界で初めて開発、製品化することに成功。

平成21年の製品化以降、1,000台を越える販売実績。



チェアサイクルでサッカー



本社

東北大学のニューロモジュレーション（神経調節）技術を活用し、リハビリ効果が大きく期待できるチェアサイクル（足こぎ車いす）を世界で初めて開発、製品化に成功



プロファンド（黄）



プロファンド（赤）



仕事風景

◆受賞の理由

ニューロモジュレーションは、世界が今、最も注目しているリハビリテーションの新しい概念であり、電気刺激や化学刺激によって中枢神経の中の神経回路を刺激することで、障害の改善を目指している。

当社は、このニューロモジュレーション技術を活用した車いす（製品名：足こぎ車いす「プロファンド」）の製品化を目指し、鈴木社長が平成20年に設立。

通常、車いすといえば、足の不自由な人の移動手段として、手を使用して移動するものであるが、当製品は、脳卒中で半身麻痺した人、腰痛、膝関節痛などで歩行困難な人でも、自身の両足でペダルをこぎ、自由に走り回ることが出来る最先端の足こぎ車いすで、機能回復や健康維持にも使えるリハビリ機能を備えている。①脳卒中で片側半身が完全に麻痺して全く歩けない人でも両足でこぐことが可能②適度なスピードでの長距離走行が可能③跳ね上げ式肘掛けの採用によりスムーズな乗り降りが可能④その場旋回が可能⑤高い安全性、の5つの特徴を兼ね備えており、「移動+機能回復効果」を併せ持った今までに例のない画期的な医療福祉機器として、高い評価を受けており、「第2回みやぎ優れMONO」にも認定されている。

今後の販路については、日本の高齢化社会の進展によって、医療、福祉、介護分野からのニーズがますます大きくなるものと予測されるが、将来的には国内のみならず海外も視野に入れた販路拡大を図っており、世界中での一層の飛躍が期待できる企業である。